
岩渕薬品、障がい者と共に海ぶどうの陸上養殖に挑戦！ ～地域社会に根ざした持続可能な事業を目指して～

医薬品総合商社であり、まちづくり事業を展開する岩渕薬品株式会社（代表取締役社長：岩渕 琢磨（※）、本社：千葉県四街道市）は、障がい者の就労支援と持続可能な社会の実現を目指し、新たに海ぶどうの陸上養殖事業へと挑戦します。※岩渕 琢磨の「琢」は旧字が正式表記。

【障がい者が輝く職場づくりを目指して】

日本では、障がい者に就労機会を提供し、社会参画を支援することが重要な課題とされていますが、依然として雇用機会が限られているため、能力を發揮できる職場環境の整備が求められています。2024年4月からは、障がい者への「合理的配慮の提供」が民間企業にも義務化され、企業にはこれまで以上に多様な人材が活躍できる環境づくりが期待されています。

当社は、障がい者の経済的自立と生活の質向上に貢献し、地域社会の発展を支援しています。このプロジェクトでは、障がい者が「陸上養殖」という新分野で活躍できる場を提供し、持続可能な社会の一翼を担うことを目指しています。多様性を尊重した社会づくりの一步として、当社の取り組みが広く社会に影響を与えることを期待しています。

【これまでの取り組みと新たな挑戦】

このような背景のもと、当社では2019年から農園型の障がい者雇用を推進し、活躍の場を広げる取り組みを続けてまいりました。現在、障がいのある社員がビニールハウスで水耕栽培による野菜の生産を担当しています。彼らが心を込めて育てた新鮮な野菜は、従業員への福利厚生として社内で配布され、社員一同、美味しくいただいております。

しかし、福利厚生としての使用にとどまると本業の経営に依存してしまい、持続可能な運営には課題がありました。そこで、生産物を販売して収益化を図る方法や、より高い付加価値を生む新たな事業モデルを模索する中で、海ぶどうの陸上養殖技術に出会いました。

【海ぶどうの陸上養殖の概要】

今回取り組む海ぶどう養殖は、コンテナ内で完結する閉鎖循環式の陸上養殖システムを採用しています。水温、日照、水質に左右されやすい海ぶどうを安定的に育てるため、コンテナ内の環境を一定に保ち、常に快適な環境下で育成させることが可能です。

このような環境で育った海ぶどうは、写真からも明らかな通り、粒が多く立派な房が密集しています。また、一般的に好まれない茎の部分が少ない点も特徴です。本来、沖縄のような暖かい海でしか生息できない海ぶどうを、この方法によって千葉県でも養殖することができ、新鮮な海ぶどうをすぐにご家庭や飲食店に提供できるようになりました。

このコンテナ型陸上養殖においては、障がいのある社員が日々のメンテナンス、収穫、商品の梱包作業などを担当します。生産された海ぶどうは、道の駅や地元のスーパー、飲食店などへ販売を予定しています。

PRESS RELEASE

また、本プロジェクトに賛同いただいた飲食店とのコラボメニューの展開も計画しており、より多くの方々に新鮮な海ぶどうを楽しんでいただける機会を提供してまいります。

<養殖場所>



<養殖時状況イメージ>



<収穫時イメージ>



【今後の展開】

岩渕薬品は、今後も障がい者雇用を推進し、地域社会に貢献できる企業を目指してまいります。将来的には、海ぶどうの加工品開発や他品種の陸上養殖への挑戦、陸上養殖と農業のハイブリッド型の事業構築など、さらなる事業拡大を視野に入れています。

本件に関する詳細情報や取材のお申し込みは、随時受け付けております。ぜひお問い合わせください。

【会社概要】

名称 : 岩渕薬品株式会社

代表者 : 代表取締役社長 岩渕 琢磨、代表取締役専務 岩渕 裕樹

所在地 : 〒284-0033 千葉県四街道市鷹の台一丁目5番

創業 : 大正3年3月15日(1914年)

主な事業内容 : 医薬品総合商社

【取材依頼・お問い合わせ先】

担当 : 岩渕薬品株式会社 広報 石原

電話 : 043-308-8875 FAX : 043-236-6761 メール : press@iwabuchi-net.co.jp